

自然数 $n = 1, 2, 3, \dots$ に対して, $(2 - \sqrt{3})^n$ という形の数を考える. これらの数はいずれも, それぞれ適当な自然数 m が存在して $\sqrt{m} - \sqrt{m-1}$ という表示をもつことを示せ.

[解]

$a_n = (2 - \sqrt{3})^n$ とおく. 二項係数が整数であるから, A_n, B_n を自然数として

$$\begin{aligned} a_n &= (2 - \sqrt{3})^n \\ &= (2^n + {}_nC_2 \cdot 2^{n-2} \cdot 3 + \dots) \\ &\quad - \sqrt{3}({}_nC_1 \cdot 2^{n-1} + {}_nC_3 \cdot 2^{n-3} \cdot 3 + \dots) \\ &= A_n - \sqrt{3}B_n \end{aligned}$$

と表せる. A_n および B_n のみたす漸化式を求めるため, $a_{n+1} = (2 - \sqrt{3})a_n$ を A および B で表すと

$$\begin{aligned} A_{n+1} - \sqrt{3}B_{n+1} &= (2 - \sqrt{3})(A_n - \sqrt{3}B_n) \\ &= 2A_n + 3B_n - \sqrt{3}(A_n + 2B_n) \\ \therefore \begin{cases} A_{n+1} = 2A_n + 3B_n \\ B_{n+1} = A_n + 2B_n \end{cases} \quad \textcircled{1} \end{aligned}$$

となる. 初期条件は $n = 1$ のとき

$$A_1 = 2 \qquad B_1 = 1 \qquad (1)$$

となる.

以下, 条件式

$$A_n^2 = 3B_n^2 + 1 \qquad (2)$$

が任意の $n \in \mathbb{N}$ で成り立つことを数学的帰納法で示す. この命題が示されれば $m = A_n^2$ とおくことで $a_n = \sqrt{m} - \sqrt{m-1}$ と表すことができる.

$n = 1$ の時の成立は eq. (1) より明らかだから, $n = k \in \mathbb{N}$ での eq. (2) の成立を仮定し, $n = k + 1$ での成立を示す. 漸化式??より

$$\begin{aligned} A_{k+1}^2 &= (2A_k + 3B_k)^2 \\ &= 4A_k^2 + 9B_k^2 + 12A_kB_k \\ &= 4(3B_k^2 + 1) + 9B_k^2 + 12A_kB_k \quad (\because \text{仮定}) \\ &= 21B_k^2 + 4 + 12A_kB_k \end{aligned}$$

および

$$\begin{aligned} 3B_{k+1}^2 + 1 &= 3(A_k + 2B_k)^2 + 1 \\ &= 3(A_k^2 + 4A_kB_k + 4B_k^2) + 1 \\ &= 3A_k^2 + 12A_kB_k + 12B_k^2 + 1 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} &= 3(3B_k^2 + 1) + 12A_kB_k + 12B_k^2 + 1 \quad (\because \text{仮定}) \\ &= 21B_k^2 + 4 + 12A_kB_k \end{aligned}$$

だから, $A_{k+1}^2 = 3B_{k+1}^2 + 1$ が成り立つ. よって $n = k + 1$ でも eq. (2) は成立.

以上から eq. (2) は示された. したがって $m = A_n^2$ とおくと $3B_n^2 = m - 1$ となり,

$$\begin{aligned} a_n &= A_n - \sqrt{3}B_n \\ &= \sqrt{m} - \sqrt{m-1} \end{aligned}$$

を得る. 以上で題意は示された. \dots (答)

[解説]

いわゆる二次体の問題である. 二次体とは, 平方数でない整数 d を用いて

$$q = A + B\sqrt{d}$$

と表されるような数の集合である. ここで $A, B \in \mathbb{Q}$ である.

a_n とペアとなる $(2 - \sqrt{3})^n$ を同時に考えることで m と綺麗に解けるので別解として示す.

$$b_n = (2 + \sqrt{3})^n$$

と定義すると, a_n と同様に

$$b_n = A_n + \sqrt{3}B_n$$

とかける. a_n と b_n の積を計算すると

$$\begin{aligned} a_nb_n &= (2 + \sqrt{3})^n(2 - \sqrt{3})^n \\ &= (4 - 3)^n \\ &= 1 \end{aligned}$$

である. 一方この積は A_n と B_n を使うと

$$\begin{aligned} a_nb_n &= (A_n + \sqrt{3}B_n)(A_n - \sqrt{3}B_n) \\ &= A_n^2 - 3B_n^2 \end{aligned}$$

と書ける. 従って

$$A_n^2 = 3B_n^2 + 1$$

をえる. これは eq. (2) であり, 以下容易に題意が示される.